

観劇へのお誘い

収益事業委員会

2017年10月4日

秋の風が心地よい季節となりました。皆様お障りも無くお過ごしでしょうか。

さて今後の観劇は、先頃お知らせいたしました12月9日(土)歌舞伎「隅田春妓女容性」、ついで2018年1月14日(日)恒例の新春歌舞伎、菊五郎劇団の「世界華小栗判官」。及び3月10日(土)国立能楽堂で「狂言・墨塗、能・船橋」を取り上げることにしました。特に新春歌舞伎は初春らしい楽しい舞台です。「新春のつどい」に各支部からご出席の方々にもご覧いただけたらと存じます。

お忙しいとは存じますが、皆様方のご予定にお入れくださいますと、多数ご参加くださいます。なお、会員外の方も歓迎いたしますので、どうぞお誘いくださいますようお願い申し上げます。

☆ 国立劇場 歌舞伎公演

- ・ 日時 12月9日(土) 12:00 開演
- ・ 演目 今様三番三 (いまようさんばそう)
隅田春妓女容性 (すだのはるげいしゃかたぎ) 一ご存梅の由兵衛
- ・ 出演 中村吉右衛門 中村雀右衛門 尾上菊之助 他
旧主の娘の身受けと紛失した重宝の詮議に奔走する主人公・梅の由兵衛の侠気と苦衷が描かれた名作。吉右衛門の初役。
- ・ チケット代 一等B席 6,400円
- ・ 定員 20名 (定員に達し次第締切) ・ 申込み締切 10月25日

☆ 国立劇場 歌舞伎公演

- ◎ 日時 1月14日(日) 12:00 開演
- ・ 演目 世界華小栗判官
- ・ 出演 尾上菊五郎、尾上菊之助 他 菊五郎劇団
- ・ チケット代 一等B席 6,400円
- ・ 定員 20名 (定員に達し次第打切) ・ 申込み締切 11月27日

☆ 国立能楽堂公演

- ・ 会場 国立能楽堂
- ・ 日時 2018年3月10日(土) 13:00 開演
- ・ 解説 未定 (決定次第お知らせ)
- ・ 狂言 墨塗 井上松次郎 (和泉流)
訴訟を済ませ帰国する大名が馴染んだ女のもとに暇乞いに行くと、女は別れを惜しんで泣く。実は茶碗の水で目を濡らしているのに、太郎冠者が気付き水と墨を取り換えて起きる騒ぎ。
- ・ 能 船橋 東川 光夫 (宝生流)
熊野の山伏が上野の佐野で、橋建立のための勧進をする男女に出会い、女の親の反対で男が橋桁を外されたことにより落ちて死んだとの嘆きを聞き、祈祷することによって成仏に導く。
- ・ チケット代 正面 4,900円
- ・ 15名 ・ 申込み締切 1月25日